

大江山・横越圏域 支え合いのしくみづくり

～地域と共につくる支え合いの輪～

平成28年より、いなほの郷福祉会では「大江山・横越圏域支え合いのしくみづくり」を新潟市から受託し取り組んでいます。

支え合いのしくみづくりでは、地域の関係団体（コミュニティ協議会や自治会、民生委員等）と連携し、地域の居場所となる茶の間の開設や地域の送迎支援、除雪等のボランティア活動の組織づくりを行っています。地域の皆様がいつまでも自宅で安心して暮らし続けることができるよう取り組んでいます。

地域の“支え合い”のかたち



地域課題の検討会



支え合いの勉強会



買い物の送迎支援



地域の茶の間

「茶の間に参加したい」「地域のボランティアをやってみたい」等、ご希望の方はお気軽にご連絡ください

〔 お問い合わせ 〕
特別養護老人ホームいなほの郷
TEL：025-278-5515
〔 担当 〕
支え合いのしくみづくり推進員



樋口 大輔

令和3年度活動報告

大江山・横越圏域支え合いのしくみづくり

いなほの郷福祉会では、新潟市より「大江山・横越圏域支え合いのしくみづくり」を受託し取り組んでいます。地域の関係団体(コミュニティ協議会・自治会・民生委員等)と連携し、地域の居場所となる茶の間の開設や地域の助け合い活動の立ち上げ支援を行っています。

助け合いによる“買い物送迎”の取り組み

令和3年6月より「助け合いによる買い物送迎」が本格的に始動しました！
当施設の車両を地域のボランティアが運転し、事前に登録した参加者の自宅と近隣のスーパーを無料で送迎しています。(週1回開催) 当日は、テレビ局からの取材もありました！



大江山・横越中学校での啓発活動

中学生を対象に支え合いのしくみづくりの説明や助ける側・助けられる側の体験ができるカードゲームを実施しました。
生徒自身が助け合う楽しさや難しさを実際に体験することができました。



地域の“見守り活動”

保存版

二本木地域で“見守る目”を広げよう

見守り チェックポイント

- 郵便物や新聞が溜まっている
- カーテンが閉まりっぱなし
- 洗濯物が干しっぱなし
- 異変がない人が出入りしている様子がある
- 敷地が草やゴミで覆れている
- 電話や訪問に応答がない
- 回覧板が止まったまま
- 家に閉じこもりがちな様子がある
- 異変が起ころう、攻んだ表情をしている
- 服装が乱れている (同じ服を着ている、季節に合わない服を着ている)

お問い合わせ
地域で見かけたら、自治会関係者や隣組長へご連絡をお願いします

二本木自治会
大江山・横越圏域支え合いのしくみづくり
新潟市生活支援体制整備事業

二本木自治会と連携し、全世帯に“見守りチェックシート”を配布しました。地域全体で見守りの気づきを持ち、高齢者世帯等に異変が生じた場合は、自治会関係者へ連絡が入るしくみです。